



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社フォトクリエイト 上場取引所 東
 コード番号 6075 URL http://www.photocreate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 朋陸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 桑原 功 (TEL) 03-6812-7054
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,514	△5.2	4	—	5	—	1	—
27年6月期第2四半期	1,597	△0.5	△18	—	△16	—	△13	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年6月期第2四半期	1.20		1.18					
27年6月期第2四半期	△10.05		—					

- (注) 1. 平成27年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
 2. 平成27年6月期第4四半期より、フォトクラウド事業の一部サービスの売上表示をサービス提供の実態に合わせて、写真の販売額を売上高として処理する方法(総額表示)からシステム及びノウハウ収益部分のみを売上高として処理する方法(純額表示)に変更しております。平成27年6月期第3四半期までと同様に総額表示を採用した場合の当第2四半期累計期間の売上高は1,756百万円(前年同期比9.9%増)となります。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,734	848	48.8
27年6月期	1,275	826	64.5

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 845百万円 27年6月期 822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,144	△1.0	78	△24.8	83	△21.2	51	△22.1	38.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年6月期第4四半期より、フォトクラウド事業の一部サービスの売上表示をサービス提供の実態に合わせて、写真の販売額を売上高として処理する方法(総額表示)からシステム及びノウハウ収益部分のみを売上高として処理する方法(純額表示)に変更しております。平成27年6月期第3四半期までと同様に総額表示を採用した場合、平成28年6月期の業績予想は、通期の売上高が3,844百万円(対前期増減率17.9%増)となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年6月期2Q	1,377,800株	27年6月期	1,336,100株
28年6月期2Q	76株	27年6月期	76株
28年6月期2Q	1,360,913株	27年6月期2Q	1,312,066株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は平成28年2月10日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年7月1日～平成27年12月31日）における我が国経済は、企業収益の好調を背景に、雇用環境の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費につきましては、先行きの不透明感が消費マインドを消極的にし、引き続き低調に推移しています。

このような状況下、当社は、「感動をカタチにしてすべての人へ」という経営理念のもと、主力事業であるインターネット写真サービス事業を着実に伸ばしていくとともに、フォトクラウド事業の拡大に努めてまいりました。また、スマートデバイスの普及に対処すべく、写真販売サイトのスマートフォン・タブレット端末への機能拡張を進める等、お客様のニーズに応えられるようサービスの拡充に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間（平成27年7月1日～平成27年12月31日）の売上高は1,514,992千円（前年同四半期比5.2%減）、営業利益は4,996千円（前年同四半期は18,825千円の営業損失）、経常利益は5,846千円（前年同四半期は16,734千円の経常損失）、四半期純利益は1,637千円（前年同四半期は13,182千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。

（インターネット写真サービス事業）

当第2四半期累計期間においては、「オールスポーツコミュニティ」で「大阪マラソン2015」や「JAL Honolulu Marathon 2015」、「第5回神戸マラソン」を始めとした各種スポーツイベントの撮影・販売を行いました。

この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、1,228,044千円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

（フォトクラウド事業）

当事業部門におきましては、教育機関以外に写真館・撮影事業者向けにもサービスを提供するWebサイト「スナップスナップ」において、新規開拓の営業活動だけではなく、既に取り取引を開始している写真館との関係強化にも注力してきました。また、株式会社ラボネットワークと平成27年2月に締結した業務提携契約に基づく取り組みとして、双方の既存顧客への営業活動に注力し、写真館との取引拡大を進めております。

また、結婚式場にてサービスを提供するWebサイト「グロリアーレ」において、全国各地の結婚式事業者及び婚礼写真会社との取引拡大を進めております。

この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、251,394千円（前年同四半期比34.4%減）となりました。なお、平成27年6月期第4四半期より、当事業の一部サービスの売上表示をサービス提供の実態に合わせて総額表示から純額表示に変更しており、平成27年6月期第3四半期までと同様に総額表示を採用した場合の当事業部門における当第2四半期累計期間の売上高は492,663千円（前年同四半期比28.6%増）となります。

（広告・マーケティング支援事業）

当事業部門におきましては、前期からの継続案件に加えて、既存クライアントとの新しい企画の取り組みだけでなく、新規クライアントの開拓にも注力したことにより受注は好調に推移しました。この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、35,553千円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,110,575千円となり、前事業年度末に比べて35,132千円減少しました。これは主に、売掛金が87,799千円増加しましたが、現金及び預金が127,194千円減少したことによるものです。また、固定資産は623,474千円となり、前事業年度末に比べて493,186千円増加しました。これは主に、関係会社株式が492,700千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債は885,094千円となり、前事業年度末に比べて435,540千円増加しました。これは主に、長期借入金(一年内返済予定を含む)が338,184千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産848,955千円となり、前事業年度末に比べて22,513千円増加しました。これは、新株発行により資本金が10,437千円増加、資本剰余金が10,437千円増加、四半期純利益の計上により利益剰余金が1,637千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、745,111千円となり、前事業年度末と比較して127,194千円減少しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は24,708千円(前年同四半期は26,736千円の支出)となりました。これは主に、売上債権が87,799千円増加した一方で、仕入債務が98,971千円増加したこと及び税引前四半期純利益が5,846千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は509,870千円(前年同四半期比475,926千円増加)となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出492,700千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は357,974千円(前年同四半期は20,911千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済が61,816千円となった一方で、長期借入れによる収入が400,000千円となったこと及び株式の発行による収入が20,875千円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年8月11日に公表いたしました平成28年6月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 追加情報

(四半期損益計算書関係)

株式会社ラボネットワークと平成27年2月に締結した業務提携契約に基づいて、フォトクラウド事業における学校写真領域において、撮影した写真を販売するシステム(スナップスナップ)の開発と写真館へのノウハウ提供に専念することとなったことに伴い、平成27年6月期第4四半期より、写真の販売額を売上高として処理する方法(総額表示)からシステム及びノウハウ収益部分のみを売上高として処理する方法(純額表示)に変更しております。これにより、平成27年6月期第3四半期までと同様に総額表示を採用した場合の当第2四半期累計期間の売上高は1,756,261千円(前年同期比9.9%増)となります。

また当社では、開催されるイベントを主な収益源としており、イベント開催時期により売上高・営業費用に季節的な変動があります。通常、大型マラソンや運動会が開催される第2四半期会計期間(10月～12月)、第3四半期会計期間(1月～3月)及び第4四半期会計期間(4月～6月)の売上高・営業利益が高く、第1四半期会計期間(7月～9月)の売上高・営業利益は低くなる傾向にあります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,306	745,111
売掛金	229,989	317,789
貯蔵品	2,829	3,378
その他	40,583	44,296
流動資産合計	1,145,708	1,110,575
固定資産		
有形固定資産	50,817	44,490
無形固定資産	52,560	61,421
投資その他の資産		
関係会社株式	—	492,700
その他	26,909	24,863
投資その他の資産合計	26,909	517,563
固定資産合計	130,287	623,474
資産合計	1,275,996	1,734,050
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,892	289,863
1年内返済予定の長期借入金	49,484	124,964
未払法人税等	6,506	8,777
その他	103,353	100,573
流動負債合計	350,237	524,179
固定負債		
長期借入金	95,042	357,746
その他	4,274	3,169
固定負債合計	99,316	360,915
負債合計	449,553	885,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,302	258,740
資本剰余金	230,102	240,540
利益剰余金	344,561	346,199
自己株式	△115	△115
株主資本合計	822,851	845,364
新株予約権	3,591	3,591
純資産合計	826,442	848,955
負債純資産合計	1,275,996	1,734,050

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,597,654	1,514,992
売上原価	996,079	834,886
売上総利益	601,574	680,106
販売費及び一般管理費	620,400	675,109
営業利益又は営業損失(△)	△18,825	4,996
営業外収益		
受取利息	197	63
為替差益	2,249	—
業務受託料	—	2,197
その他	662	1,096
営業外収益合計	3,109	3,357
営業外費用		
支払利息	969	1,783
その他	48	723
営業外費用合計	1,018	2,507
経常利益又は経常損失(△)	△16,734	5,846
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△16,734	5,846
法人税、住民税及び事業税	1,281	7,093
法人税等調整額	△4,833	△2,884
法人税等合計	△3,552	4,208
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,182	1,637

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△16,734	5,846
減価償却費	12,060	14,738
受取利息及び受取配当金	△197	△63
支払利息	969	1,783
売上債権の増減額(△は増加)	△72,107	△87,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,522	△549
仕入債務の増減額(△は減少)	49,643	98,971
未払金の増減額(△は減少)	5,837	8,910
その他	5,978	△9,483
小計	△13,027	32,352
利息及び配当金の受取額	197	63
利息の支払額	△831	△1,850
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,074	△5,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,736	24,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,497	△2,222
無形固定資産の取得による支出	△13,661	△15,341
関係会社株式の取得による支出	—	△492,700
その他	215	394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,943	△509,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△23,492	△61,816
株式の発行による収入	125	20,875
新株予約権の発行による収入	3,591	—
リース債務の返済による支出	△1,135	△1,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,911	357,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,006	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79,584	△127,194
現金及び現金同等物の期首残高	793,602	872,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	714,018	745,111

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、インターネット写真サービス並びにこれらに関連した事業の単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。